

第3号様式（第6条第1項関係）

市長	副市長	部長	課長	主幹・副主幹	主査・主査補	班員
付議・報告部課						

平成30年9月14日

会議結果報告書（行政経営戦略会議）

1 日時及び場所

平成30年9月14日（金）午前9時30分～ 本庁舎2階災害対策本部2

2 出席者

企画政策課 中村課長、富田主査

3 件名

事務事業評価結果に基づく事務事業の見直しについて

4 会議結果

- 案のとおり決定する。
- 一部修正の上、決定する。
- 継続して検討する。
- 案を否決する。
- 報告を了承する。

5 会議内容

・質疑等なし

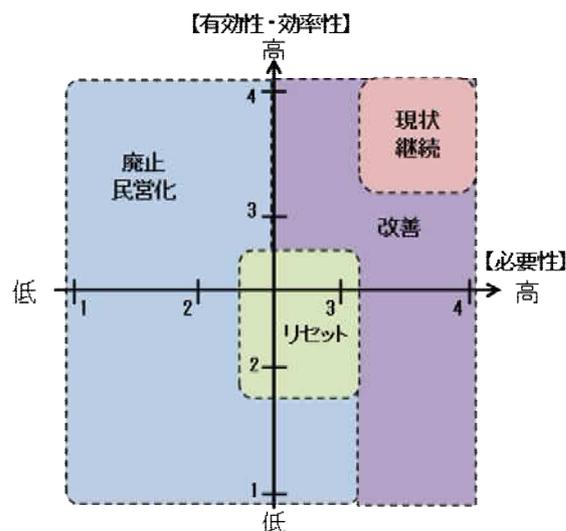
備考 会議内容を簡潔に記載すること。

事務事業評価結果に基づく事務事業の見直しについて

1 事務事業の見直しの概要

平成29年7月に策定した「白井市事務事業評価及び事務事業の見直し基準」では、各事務事業を必要性・有効性・効率性の3つの視点から評価し、各視点の総合評価点数を算出した上で、右表の該当するエリアを参考に事務事業の抜本的な見直しを進めることとしている。

なお、平成30年度は、下表のとおり重点戦略事業及び分野別計画事業のうち「B 学習・教育」に属する事業を対象に見直しを実施した。



区分	事業数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
重点戦略事業	54		●	●	●	
分野別計画事業	94					次期基本計画策定
A 健康・福祉	35		●			
B 学習・教育	29			●		
C 産業・雇用	7				●	
D 環境・自然	6				●	
E 地域・安心	9				●	
F 都市・交通	8				●	

2 事務事業の見直しの方向性

白井市事務事業評価及び事務事業の見直し基準に基づき、事務事業の廃止、リセット等の抜本的な見直しを検討すべき事業として、別紙のとおり4事業を選定し、今後の方向性を判断した。

3 見直しによる効果額

事業名	効果額 ※H29 決算額
教育資金利子補給事業	1,147,810円
各種スポーツ大会開催事業 (スポーツフェスタ)	1,562,582円
立春式事業	-
市民文化祭開催事業	-
合計	2,710,392円

見直し対象事業一覧

事業名	教育資金利子補給事業			各種スポーツ大会開催事業			立春式事業			市民文化祭開催事業		
区分	重点戦略外			重点戦略外			重点戦略外			重点戦略外		
担当課	教育総務課			生涯学習課			生涯学習課			生涯学習課		
事業実施の背景	事業開始当時、北総線の運賃問題に解決策がない中、教育支援策として開始した。			スポーツフェスタは、旧スポーツ振興法(現スポーツ基本法)に基づき昭和49年度から体育の日の行事として実施してきた町民運動会を見直し、誰もが気軽に自由に参加できる行事として平成9年度に開始した。 梨マラソン大会は、社会体育の振興と、市や梨のPRを図る目的で昭和61年度に開始した。			全国各地で、校内暴力など中学生の問題行動が続出したことにより、日本児童文芸作家協会が、中学生に「自覚、立志、健康」の目標のもとに、中学2年生を対象に成人式に準ずる立志式を計画したことから、市でも昭和39年に初めて白井中学校で開催した後、全中学校に広がった。			文化振興のため、日ごろの活動の成果を発表し、また市民が芸術に親しむ機会を作ることを目的に昭和31年に文化祭を開催し、昭和61年からは市民の音楽発表の場を提供するため音楽祭も開始した。平成14年からはダンスフェスティバルも行っている。		
事業開始年度	平成12年度			昭和49年度			昭和39年度			昭和31年度		
事業目的・概要	教育の機会均等の確保と経済的負担の軽減を図り、家庭における子育てを支援するため、金融機関から教育資金の融資を受けている人に対して、返済利子の一部を助成する。 【対象者】 ①国内の高校・大学・高等専門学校・専修学校に入学・在学している人又はその保護者 ②市内に住所がある人 ③世帯全員の市税を完納している人 ④日本政策金融公庫、千葉銀行・京葉銀行・千葉興業銀行・千葉信用金庫の白井支店から月賦償還方式による教育資金の融資を受けている人 【補助率】 2/3 平成30年度新規受付分から			広くスポーツを普及し、市民の健康と体力の保持増進を図るため、各種スポーツ団体等と協働で競技大会、スポーツイベントを開催する。 ①白井梨マラソン大会 実行委員会が2・3・5・10kmコースの4種目、15部門で実施 ②スポーツフェスタ 実行委員会が気軽に楽しく幅広く参加できる多様なスポーツプログラムを実施 ③白井市民大会 体育協会加盟団体(20団体)が市との共催により競技大会(26競技)を実施 ④印旛郡市民大会・印旛駅伝競走大会・県民体育大会への選手派遣			中学2年生を対象に、社会の一員としての自覚や将来に対する夢を育むため、実行委員会が各種体験事業や式典を行う。 ①体験事業(職業体験・自然体験) ②記念式典・記念行事 ③記念文集作成			市民の公共的な文化振興活動の成果発表と鑑賞の機会を提供するため、市民文化祭を開催する。 ①一般部門(実行委員会の主催) ②学校部門(教育委員会の直営)		
実績	【H29年度実績】 継続 60件 1,025,514円 新規 16件 122,296円 合計 76件 1,147,810円			【H29年度実績】 ①白井梨マラソン大会 申込件数3,457件 ②スポーツフェスタ 来場者 2,095人 ③白井市民大会 参加者 4,189人 ④印旛郡市民大会・印旛駅伝競走大会・県民体育大会への選手派遣428人			【H29年度実績】 市内5中学校で実施			【H29年度実績】 ①一般部門 参加者268人 見学者1,649人 ②芸能発表会 参加者61人 見学者300人 ③音楽祭 参加者513人 見学者488人 ④ダンスフェスティバル 参加者300人 見学者1,692人 ⑤学校部門 参加者1,170人 見学者3,822人		
H29年度決算額	1,147,810円			4,709,407円			693,879円			2,601,147円		
事務事業評価及び事務事業の見直し基準に基づく総合評価点数及び内容	必要性	有効性	効率性	必要性	有効性	効率性	必要性	有効性	効率性	必要性	有効性	効率性
	2	3	4	3	2	3	3	3	2	3	3	2
担当課の対応方針	補助金のあり方の基本方針に基づき、補助率の見直しを行い、平成30年度から補助率を2/3から1/2に変更したところである。しかしながら、新規の申請件数からみても事業の必要性が薄れてきたことは事実であり、経済状況等からも現在の実情にそぐわない制度となりつつあるため、前期実施計画の最終年度である平成32年度で廃止する方向で、廃止することについての周知方法や現在交付決定されている対象者の経過措置等について来年度から検討していくこととする。			白井スポーツフェスタは、スポーツの振興、市民の健康増進に寄与するものとして一定の評価はできるものの、参加者の固定化が見受けられることから、大会の統合や廃止などを検討する必要がある。			学校側と補助金の在り方を踏まえ、立春式事業の必要性等について協議し、平成32年度中に見直しを行い、その結果を平成33年度予算に反映する。			受益者負担を求めることについて市民文化祭実行委員会と協議し、平成31年度中に見直しを行い、その結果を平成32年度予算に反映する。		
関連条例等	白井市教育資金利子補給金交付要綱			白井市梨マラソン実行委員会補助金交付要綱 白井市スポーツフェスタ実行委員会補助金交付要綱			白井市立春式事業交付金交付要綱			白井市民文化祭実行委員会補助金交付要綱		